

中国人留学生(第13期生)受け入れ開始

9月10日(月)、中国人留学生の第13期生 馮 艶群(フー エンゲン)さんが本校にやって来ました。来年の7月までの約11ヶ月間、国際教養科1年7組に在籍し一緒に勉強することになりました。

明るくまじめな性格で、いろいろなことに積極的に挑戦していこうという姿勢がうかがえます。クラスの生徒たちともすぐに打ち解けていました。来て早々の2週目には中間テストを受け、その週末には泊まりがけで英語合宿に参加し、翌週は進路研修旅行にも行ってきました。これから多くのことを学び、将来は日中両国の架け橋となるよう頑張ってほしいと思います。



自己紹介をする馮艶群さん

第2回英語合宿 (9/29-30)

第2回目の秋の英語合宿が行われました。昨年と同じ飯綱高原のアゼイリア飯綱というホテルで行われ、今回は普通科からも1名の参加者がありました。講師は4月の合宿時と同じ、日本外国語専門学校のWarren先生とGraham先生のお二人にお願いしました。

1日目は、発音、英会話、地理学、生物学など多様な分野の授業を受け、様々なアクティビティーを行い、聞く力、話す力の向上につなげました。2日目は、1日目の授業で学んだトピックから一つ選び、グループで3枚の絵を描いて、物語を英語で作成発表する、STORYBOARDという活動を行いました。

今回は2回目ということで、レベルも上がり、プレゼンの準備も時間的制約のある中で、かなり大変でしたが、生徒たちはみな熱心に取り組み、限られた時間で素晴らしい発表をすることができました。大変充実した合宿になりました。メニューや時間配分は次年度に向けてまた研究していきたいと思います。



Warren 先生



Graham 先生



プレゼンの準備



プレゼンの練習



2日目プレゼン本番



全員で記念撮影

【英語合宿 アンケートより】

向上した点

- ・聞く力がとてもついたと思う。
- ・英語で説明する力がついたと思う。
- ・4月の時より先生の言っていることが理解できるようになった。
- ・グループの人と協力して、英語で考えたり想像したりする力が伸びたと思う。
- ・日常的に使う英語の表現を身につけることができた。
- ・大きな声で話せるようになった。
- ・積極性が身についた
- ・ネットに頼らず一から英文を作る力が身についたと思う。

全体を通して

- ・グループで話し合い意見を一つにし作品を作り上げることの難しさも分かったが、完成したときの達成感は大かった。
- ・プレゼンテーションは抵抗があったけれど、チームでたくさん話して作っていくことは楽しかった。
- ・自分の成長を感じた。4月の合宿で学んだことが、その後の英語の取り組みに大きく生きて、今回の合宿で成果が現れたと思う。今後も頑張りたい。
- ・英語で聞く、話す、書く、考える、が前よりもうまくなって嬉しかったし、自信がついた。
- ・授業内容が、いずれは自分たちが必要とするものであり、英語学習を続けていく原動力となった。
- ・改めて自分の英語を見直し、向上した点や改善点を見つけることができた。
- ・プレゼンの準備、練習の時間がもっとほしかった。

中国語スピーチコンテスト (9/30)

9月30日(土)に長野県日中友好協会ラジオ孔子学堂主催の「第36回全日本中国語スピーチコンテスト長野県大会」が開かれ、今年も本校から朗読部門に2名出場しました。2年6組北田満梨奈さんが見事優勝。2年6組赤塩涼さんが2位に入賞しました。北田さんは全国大会に出場します。おめでとうございます。



北田 満梨奈 さん



赤塩 涼 さん